

事前評価チェックシート

計画の名称： 都市公園の機能向上と地方創生の推進に関する計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 整備計画の目標が地域の課題解決へ向けた内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標、指標・数値目標及び事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が県民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果を発揮できる内容となっている。	○
III. 計画の実現可能性 継続的な都市公園の利用促進の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年01月24日

計画の名称	都市公園の機能向上と地方創生の推進に関する計画												
計画の期間	令和07年度 ~ 令和11年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	秋田県												
計画の目標	<p>八橋運動公園は昭和16年に供用開始された都市公園であり、県立体育館や、秋田市が管理する陸上競技場や硬式野球場、屋外球技場などからなる。このうち、老朽化が進行している県立体育館は、人口減少などの社会的動向を見据えながら、建替えによる関連施設との集約化・複合化を図る。</p> <p>また、施設整備方針として「みる」「する」「ささえる」スポーツの拠点となり、県民が集い、賑わいを創出することを掲げ、県民が多様なスポーツ活動を行うことができる環境を整備するとともに、都市公園の機能の向上と地方創生の推進に寄与することを目標とする。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	22,767	A	22,767	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和7年度当初	令和9年度末	令和11年度末
1	公園利用者数(体育館の利用者数)を97,100人から325,100人に増加させる。 事業対象となっている公園利用者数(体育館の利用者数)を算出する。 (体育館の利用者数) = (スポーツ活動者としての年間の延べ利用者数) + (観覧者としての年間の延べ利用者数)	97100人	97100人	325100人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R07	R08	R09	R10	R11				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	秋田県	直接	秋田県	-	-	新県立体育館整備事業(八橋運動公園)	新県立体育館の整備、現県立体育館の解体	秋田市						22,767	1.11	策定済	
												小計						22,767		
												合計							22,767	

社会資本総合整備計画（都市公園） 参考図面

計画の名称	都市公園の機能向上と地方創生の推進に関する計画	交付対象	秋田県
計画の期間	令和7年度～令和11年度（5年間）		

